

有縁の皆さんでお読み下さい

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

令和6年能登半島地震で被災された全ての生き物たちと共にありたい

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.333



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

○涅槃会（お釈迦様が涅槃に至られた日）

2月15日（木）10：00～12：00
13：30～15：00

読経と住職の法話

「浄土真宗の救いのよろこび」

○こんき常例布教（所属寺を超えた念仏サンガ）

2月25日（日）10：00～12：00
13：30～15：30

読経と寺西実円師の法話

「南無阿弥陀仏に生かされて」

○彦根組真宗講座「三帖和讃に学ぶ」

2月28日（水）13：30～16：00

読経と住職の法話

「正像末和讃をいただく」

YouTube 純正寺チャンネル

LINE 純正寺公式アカウント

純正寺公式ホームページ

facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

大慈悲心は苦悩の衆生を捨てず

能登半島地震災害に動く

娑婆とは忍土

浄土真宗の教えに生きられた親鸞聖人は、平安時代の末期にお生まれになり、

九歳で仏門にお入りになりました。何故、こんなにも早く親元を離れて仏門に入られたのかというと、当時の社会の現実があまりにも厳しいものであったからだと考えられます。

親鸞聖人がお生まれになった頃の京都は、源氏と平家の争いによる戦禍に加えて、天候不順による著しい食料不足や疫病の流行によって、多くの人が病死や餓死するという惨状でした。あまりにも大量死に葬送が間に合わず、大量の遺体が鴨川に投げ捨てられ

た結果、鴨川の水がせき止められて、死臭を伴った川の水が街中に流れ込んだと伝えられます。

このような惨状の中で、幼き親鸞聖人はご両親とも生別・死別されたのでした。そうになると、もう幼き子どもに生きる術はなかったのではありません。九歳の聖人は、叔父様に手を引かれて青蓮院を通じて比叡山に入られたのです。その時に詠まれたという和歌が「明日ありと思ふこころの仇ぎくら 夜半に嵐の吹かぬものは」だと伝えられています。九歳にして、自分がいつ死んでもおかしくないという厳しい事実を実感せねばならなかったのです。

仏教では、この厳しい現実世界を「娑婆」と言い当てます。私たち人間は、心に様々な苦悩を忍んで受け、身体には寒・暑・風・雨などの苦悩を受けて耐え忍ばなければならぬという意味です。そして、昔も今もこの厳しい現実世界を耐え忍んで生きるために必要なのが、仏法なのです。それが、お念仏の教えなのです。

被災も顧みず

元日の夕刻、能登半島の沖を震源に発生したこの大地震は、石川県能登地方を中心に北陸地方の広い範囲に甚大な被害を及ぼしました。中でも、輪島市や珠洲市など能登半島の市町では、地震の大きな揺れや津波による家屋の倒壊や火事により、二百名を超える

人たちの命が失われました。そして、さらに多くの人たちが避難所での不自由な生活を余儀なくされています。

石川県の西部に位置する小松市でも、多くの家屋や道路に被害がありました。小松市を起点に、石川県や福井県で子ども食堂の活動を展開されている、浄土真宗の僧侶が立ち上げた一般社団法人「えんまん」のメンバーたちも被害に遭われました。元日の午後、えんまんさんは子ども食堂を開催しておられる最中に地震に遭われたのです。

その結果、食堂に参加していた子ども達とえんまんのメンバー達は、不安な夜を避難所で明かされました。明るる二日の朝、子ども達を無事に自宅へと送り届けたメンバー達は、自分

たちの自宅も被災したのも顧みず、大きな被害を受けた能登半島に向かつて救援物資を運ぶ活動を早速始めたのでした。

しかし、石川県内では地震の影響で流通が滞り、明くる三日には運ぶ物資が不足し始めました。そこで、同じく子ども食堂「みんなの食堂ビハーク」を営む純正寺の住職にも、えんまんの代表である僧侶から物資を供給する後方支援活動の依頼が来たのです。

子ども食堂の縁で

早速住職は、食堂ビハークに参加している子ども達のご家庭や「純正寺念仏サング」に参加していただくご門徒などに、三日のお昼に物資提供の依頼をさせていただきました。する

と、明くる四日までの一日半の間に、飲料水・毛布・カップラーメン・液体ミルク・離乳食・携帯カイロ・おむつ・生理用品など、トラック二台分の物資が純正寺本堂に集まりました。

そして、明くる五日の午前中、物資提供にご協力くださった方々と共にトラック二台に物資を積み込み、救援物資の備蓄基地になっている小松市の本光寺さんへと出発しました。小松市までの道中は、地震の被害もなくおよそ三時間弱で、無事本光寺に到着いたしました。物資をトラックから降ろしている最中に、能登へ物資を届けた僧侶が帰ってこられ、私たちが持つて行った液体ミルクやカップラーメンや飲料水を早速車に積み込んで、再び能登に向けて出発されました。

私たちが彦根に戻るとすぐに、再び現地から物資供給の依頼が届き、今度はブルーシート五十枚などを宅急便で本光寺に送りました。十日には、更に追加の支援依頼がありましたので、再び多くの方々に協力を求めましたところ、十二日の午前中の三時間だけでトラック一台分の物資が集まり、再び本光寺に届けてまいりました。

仏の大慈悲の中で

今回の、緊急の支援活動には、住職に直接つながりのある方のみならず、二次三次拡散してくださったことによる、初対面の方々からもたくさん物資提供にご協力をいただきました。中には、遠方から物資を送ると間に合わないの、PAYPAYで支援金を送ってくださった門徒さんも

おられました。短期間での迅速な活動にご協力をいただきましたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。

そして、この皆さんのご協力の根元には、間違いなくお念仏の力が作用しています。何故なら、お念仏とは阿弥陀如来の、苦しみ悲しみ痛む人を決して見放さない大慈悲のはたらきだからです。この大慈悲のはたらきに促されたからこそ、今回の活動が起こったのです。そして、この大慈悲の活動は、私たちの苦悩が続く限りこれからも活動し続けられます。ですから、大慈悲のはたらきであるお念仏を共にしてくださる皆さんが、一人でも多く協働してくださることを心より願っています。



純正寺2月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、六二四、五七六個

今年最初の一ヶ月は、何と二〇六四〇個のエコキャップが集まりました。皆さんのご協力は、確実に人生を救っています。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

3日(土)・24日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

4日(日)・18日(日)

15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

13日(火)・27日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くても柔らかい身体と心を作りましょう。

釈尊ご入滅の日に「涅槃会」

15日(木)

10:00~12:00.13:30~15:00

年齢性別は問いません

お釈迦様が完全なる涅槃(さとり)に至られた記念日です。法話は、純正寺住職による「浄土真宗の救いよるこび」です。

みんなの食堂ビハラー

15日(木)・29日(木)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前に、お申し込みを。

世のなか安穏なれ「ビハラー彦根」

18日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハラーの心を学びます。

「月例法話座談会」

21日(水)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(日)

10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、大津市長久寺の寺西実円師です。

彦根組真宗講座「三帖和讃に学ぶ」

28日(水)

13:30~16:00

年齢・性別は問いません

彦根組主催の、門徒対象の連続講座。今回は、三帖和讃の中から『正像末和讃』を味わわせて頂きましょう。

能登半島地震
災害支援協力の現況
元日に発生しました能登半島地震に伴う災害支援活動に対するご協力に、これまで沢山の方々から二十七万八千円の支援金をお預かりいたしました。その全てを、物資購入と運搬費に当てさせていただきますました。ありがとうございます。今後も、支援活動を継続してまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。